

コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当たり6.25人と、前週と比べてやや増加し、例年同時期に比べて報告数が多くなっています。

冬季はノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が流行しますが、患者数の増加が例年より早くなっていますので、注意が必要です。手洗いの励行や便・吐物の適切な処理など感染予防対策を心がけましょう。

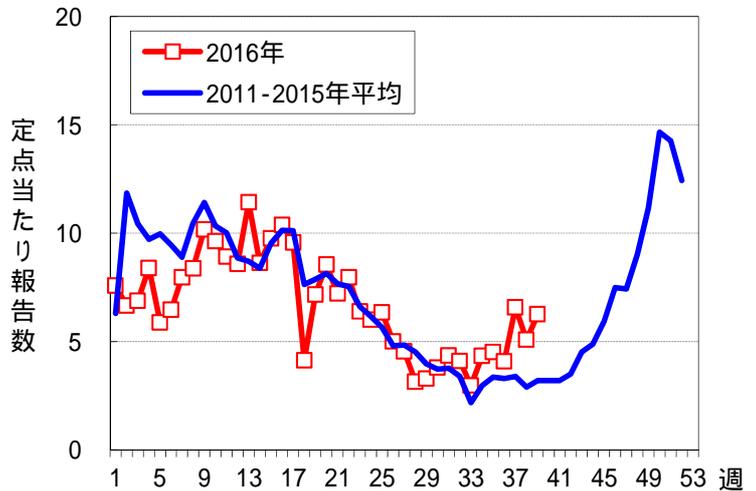
2. インフルエンザ

市内の定点医療機関から、6人(定点当たり0.16人)の報告がありました(迅速診断キット:すべてA型陽性)。また、広島市衛生研究所の検査では、今シーズン初めてインフルエンザウイルスA香港(AH3)型が検出されています。

3. デング熱

1件(推定感染地:国外)の報告があり、今年の累計は8件となりました。

感染性胃腸炎の流行状況



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	6	0.16	0.03		小児科	流行性耳下腺炎	12	0.50	0.69	
小児科	咽頭結膜熱	6	0.25	0.24		小児科	RSウイルス感染症	21	0.88	0.84	⇒
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	1.33	1.00	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	150	6.25	3.20	⇒	眼科	流行性角結膜炎	5	0.63	1.25	
	水痘	14	0.58	0.47		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	27	1.13	1.57	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
	伝染性紅斑	9	0.38	0.14			マイコプラズマ肺炎	7	1.00	0.31	
	突発性発しん	10	0.42	0.39			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	1	0.04	0.13		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	12	0.50	0.26							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	⇔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	118	女性(60歳代)・3人、男性(70歳代)・2人、女性(70歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	11	女性(10歳代)・O血清群不明
4	デング熱	1	8	男性(50歳代)・推定感染地域:国外
5	後天性免疫不全症候群	1	14	男性(40歳代)・感染者
5	破傷風	1	3	男性(60歳代)

定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	第35週 第36週 第37週 第38週 第39週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎			
		第35週	第36週	第37週	第38週	第39週	第35週	第36週	第37週	第38週	第39週	第35週	第36週	第37週	第38週	第39週	第35週	第36週	第37週	第38週	第39週	第35週	第36週	第37週
広島市	-	18	19	108	12	3	12	12	1	11	9	42	1	3	-	1	4	-	-	-	-			
広島市	-	13	33	98	15	5	7	13	3	7	14	28	-	9	-	-	4	-	-	-	-			
広島市	-	12	45	158	12	17	10	8	1	8	18	39	-	5	-	-	2	-	-	-	-			
広島市	4	4	30	122	10	25	2	13	3	8	12	23	-	3	-	-	4	-	-	-	-			
広島市	6	6	32	150	14	27	9	10	1	12	12	21	-	5	-	-	7	-	-	-	-			
広島市	-	0.75	0.79	4.50	0.50	0.13	0.50	0.50	0.04	0.46	0.38	1.75	0.13	0.38	-	0.14	0.57	-	-	-	-			
広島市	-	0.54	1.38	4.08	0.63	0.21	0.29	0.54	0.13	0.29	0.58	1.17	-	1.13	-	-	0.57	-	-	-	-			
広島市	-	0.50	1.88	6.58	0.50	0.71	0.42	0.33	0.04	0.33	0.75	1.63	-	0.63	-	-	0.29	-	-	-	-			
広島市	0.11	0.17	1.25	5.08	0.42	1.04	0.08	0.54	0.13	0.33	0.50	0.96	-	0.38	-	-	0.57	-	-	-	-			
広島市	0.16	0.25	1.33	6.25	0.58	1.13	0.38	0.42	0.04	0.50	0.50	0.88	-	0.63	-	-	1.00	-	-	-	-			
全国	第37週	0.09	0.37	1.60	3.71	0.27	0.80	0.13	0.55	0.02	1.43	1.07	1.45	0.02	0.96	0.01	0.08	0.95	0.02	0.01	0.01			
全国	第38週	0.12	0.25	1.20	2.94	0.26	0.79	0.10	0.44	0.02	0.88	0.94	1.34	0.01	0.83	0.03	0.07	0.84	0.01	0.01	0.01			

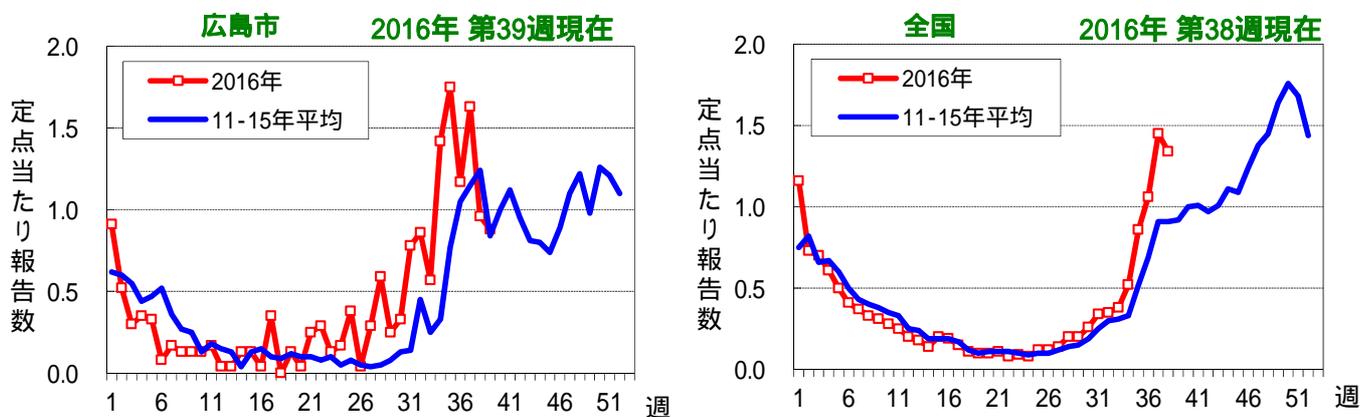
新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
百日咳	発熱(38.4) 気管支炎	6	女	2016/07/23	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	喘鳴	1	女	2016/08/22	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	細気管支炎	3	女	2016/08/24	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 上気道炎 関節痛 筋肉痛	49	男	2016/08/27	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市及び全国におけるRSウイルス感染症の発生動向



RSウイルス感染症は、RSウイルスによって起きる急性呼吸器感染症です。年齢を問わず、生涯にわたって繰り返し感染しますが、年齢が低いほど重症化しやすく、細気管支炎や肺炎を引き起こすことがあるため、乳幼児への感染には特に注意が必要です。手洗いを励行し、咳などの呼吸器症状がある場合はマスクを着用して乳幼児に接することが大切です。

広島市における今年の小児科定点医療機関からの報告数は、7月頃から増加し、全国的にも例年同時期に比べて多くなっているため、今後の動向に注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2016年第39週(9月26日～10月2日)